

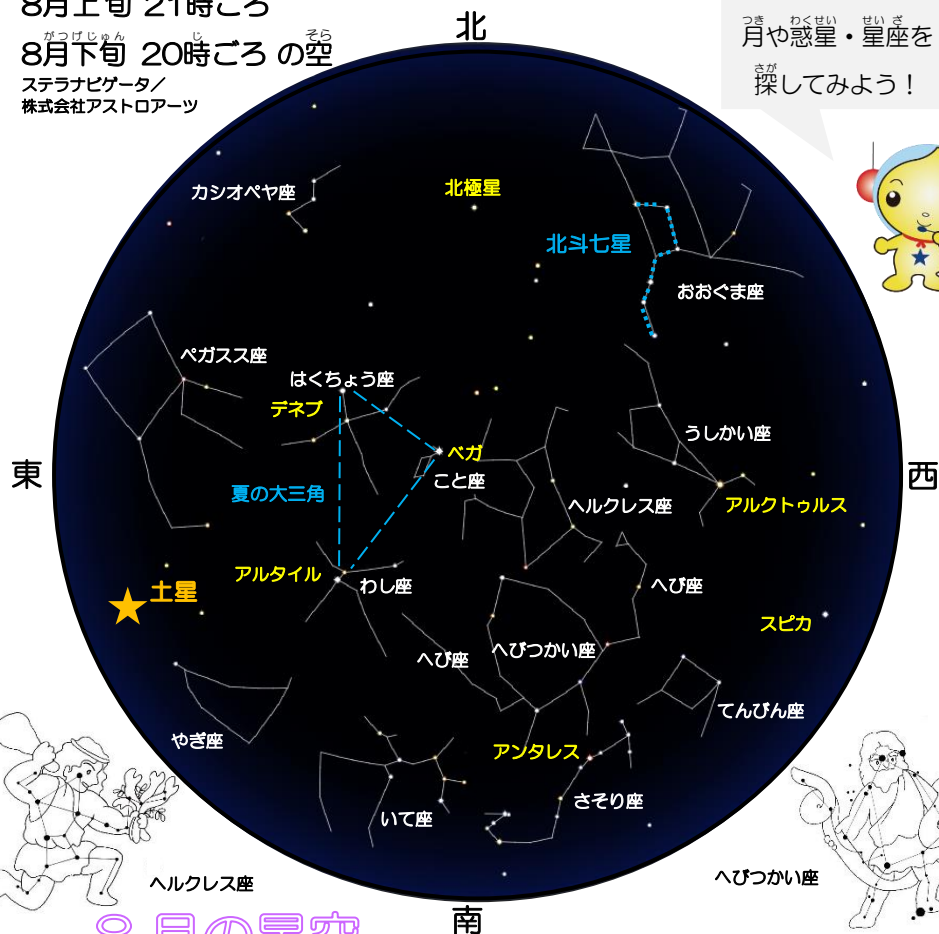
月刊 星空の散歩道 2023年 8月号

8月上旬 21時ごろ

8月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

つき わくせい せいざ
月や惑星・星座を
探してみよう！



8月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に春の星座、南の空に夏の星座、東の空に秋の星座が見えています。

< 西 > うしかい座 (アルクトゥルス)

< 天頂 > こと座 (ベガ)、はくちょう座 (デネブ)、わし座 (アルタイル)

< 南 > さそり座 (アンタレス)、いて座

< 東 > ペガサス座

< 北 > 北極星、おおぐま座、カシオペア座

☆天文トピック☆

8月 8日 立秋

夏至と秋分のまん中の日。暦の上では秋の始まりとされます。

8月 13～14日 ペルセウス座流星群

毎年、多くの流れ星が見られます。13日午後5時頃にピークを迎えると予想されています。

(天文コラム参照)

8月 27日 土星が衝

地球から見て、土星が太陽のちょうど反対側にくるので、ほぼ一晩中、見ることができます。

☆月の形の変化☆

8月 2日 満月

8月 8日 下弦

8月 16日 新月

8月 24日 上弦

8月 31日 満月

☆8月の惑星☆

土星…日没後、南東の空

木星…明け方、南東の空

<天文コラム> ペルセウス座流星群

夜空の星々を眺めていると、時折、「流星」を目にすることがあります。流星の光は宇宙にある直径数ミリ程度のチリ粒が地球の大気に入射するときに発生します。このチリがひとかたまりに集まったところと地球の軌道が重なったとき、特定の期間に比較的多くの流星が見えます。これを流星群と呼んでおり、年間で実に70以上もあります。チリの位置を正確に特定することはできませんが、過去の流星群発生記録から、かたまりの軌道がある程度わかっているものもあり、流星群の極大予測に一役かかっています。

最も有名な流星群のひとつ「ペルセウス座流星群」は、空が暗く星がよく見えるところで、多いときに1時間に30～50個程度の流星が見られます。今年は8月13日17時頃が極大を迎え、その前後は流星が多く見えると予想されています。17時はまだ空が明るい中ですので、日没後1時間ほど経った20時頃から眺めてみるというでしょう。

ペルセウス座流星群は、ペルセウス座にある特定の点から周囲に向けて放射状に流星が跳ぶことから名付けられました。とはいえ、空のどこに流れるかはわかりません。流星を見るためには、できるだけ街明かりを避け、広く空が見渡せる場所で観察することを勧めます。夜は夜露で身体が冷えることもありますので、軽めの上着や、そして虫除けなども用意して、10～30分程度、空を眺めてみませんか。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2023年7月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

